

# 発達障害の子を支援

県北東部で障害者支援事業などを展開する特定非営利活動法人あかりは、宮代町国納に児童発達支援センター「こころ園」を開設した。同センターは、子どもの発達に悩んでいる保護者に向け「一人で抱え込まず、まずは相談してほしい」と話している。（保坂直人）

## 宮代「こころ園」開設

「こころ園」は今年4月、前身となる2施設を統合、定員を増やす形で開設した。施設は、利根地域療育センター、相談支援事業所を併設。ムクノキをふんたんに使ったドーム型多目的スペースを備える。

あかり代表理事の川岸恵子さんによると、幼稚園、保育園に入園した後、集団になじめない、入園を断られたなど、相談を受けるケースが多いという。

「こころ園」では子ども1人を職員がマンツーマンで支援。川岸さんは「幼児期に人とコミュニケーションが取れるようになることは、その後の人生に大きな影響を与える」と話す。

開設以来、「こころ園」には周辺地域を中心に、発達に不安がある就学前の子ども30人以上が通園。集団生活に適應する支援を受けている。園への送迎は原則保護者が行う。「送迎の迎えを通じて、今日あったことをスタッフが親に伝えることができる、ママ友や気が許せる仲間ができる」として、子育てに希望が持てるようになる」と川岸さん。幼稚園や保育園と併用し通園する子どももいるという。「こころ園」に長期通園する



ムクノキを使ったドーム型多目的スペースを紹介する川岸恵子さん

## 就学前、集団生活に適應

「こころ園」は今年4月、前身となる2施設を統合、定員を増やす形で開設した。施設は、利根地域療育センター、相談支援事業所を併設。ムクノキをふんたんに使ったドーム型多目的スペースを備える。

「こころ園」では子ども1人を職員がマンツーマンで支援。川岸さんは「幼児期に人とコミュニケーションが取れるようになることは、その後の人生に大きな影響を与える」と話す。

開設以来、「こころ園」には周辺地域を中心に、発達に不安がある就学前の子ども30人以上が通園。集団生活に適應する支援を受けている。園への送迎は原則保護者が行う。「送迎の迎えを通じて、今日あったことをスタッフが親に伝えることができる、ママ友や気が許せる仲間ができる」として、子育てに希望が持てるようになる」と川岸さん。幼稚園や保育園と併用し通園する子どももいるという。「こころ園」に長期通園する

4月に開園した児童発達支援センター「こころ園」

